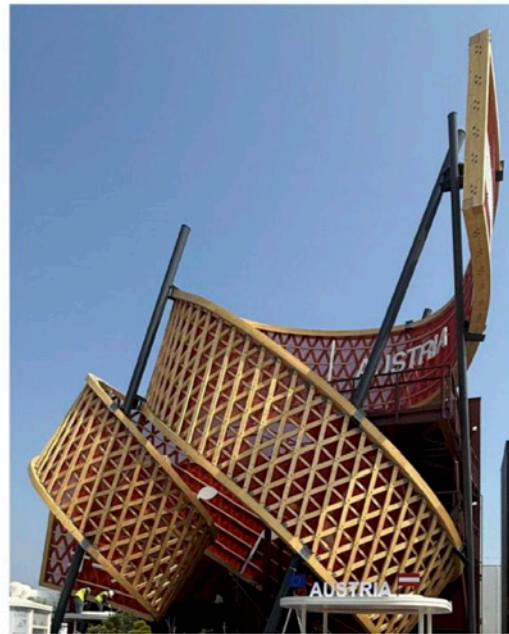


全方位から体感する、オーストリアの魅力

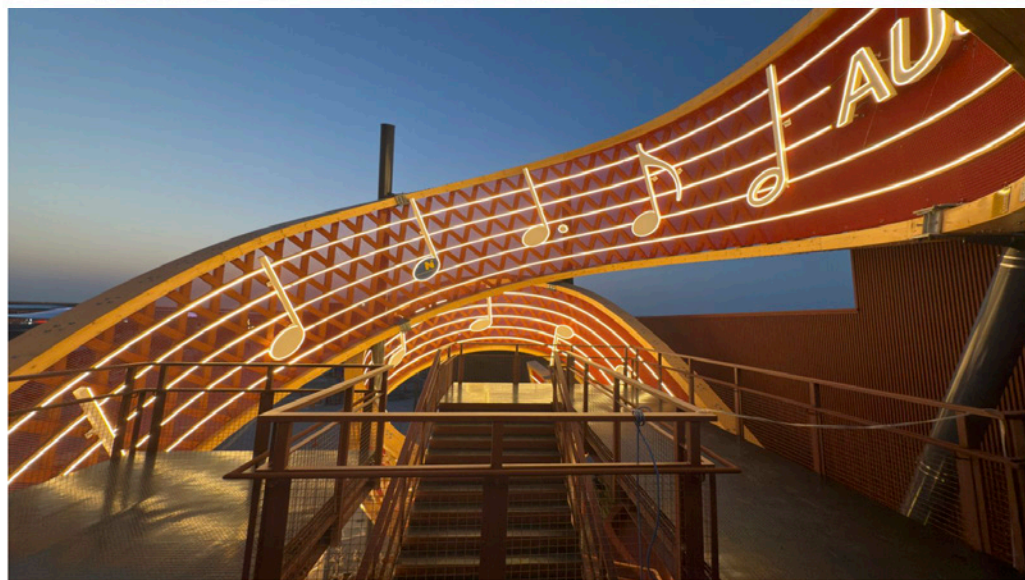
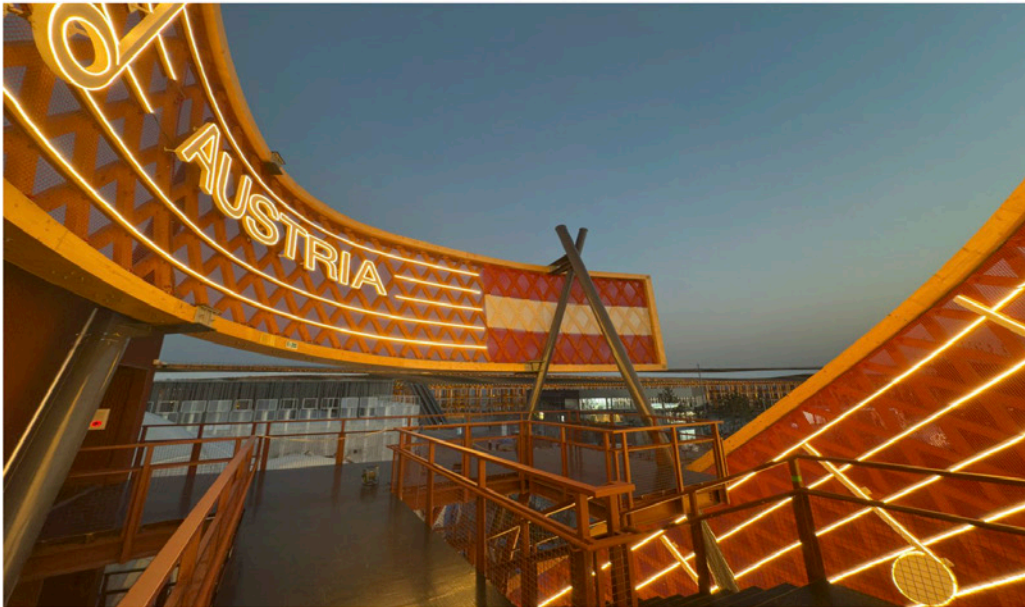


<上・右下>楽譜をモチーフにした螺旋状のオブジェが、オーストリアの文化と創造性を象徴する。視覚的なリズムが、来場者をバビロンへと誘う。<左下>オーストリアバビロンには、世界で16台限定の特別モデルとして、葛飾北斎の「神奈川沖浪裏」が描かれたグランドピアノが展示されている。屋根の裏に浮世絵を配したこのピアノは、オーストリアの熟練職人による手作業で丁寧につくられた芸術品だ。

五線譜をモチーフにしたオブジェが目を引き、バビロンのコンセプトは「オーストリア：未来を作曲」。来場者は音楽に導かれながら、過去から未来、伝統からイノベーションまで、全方位からオーストリアを体感できるのが特徴となっている。

その中には、1873年に開催されたウィーン万博で、明治天皇に献上された幻のピアノ「エンペラー」のレプリカなど、日本とオーストリアをつなぐ興味深い展示も。HYDEとスワロフスキー・クリスタルワールドのコラボハットも、両国の新しい絆を示すシンボルとして展示される。実際にHYDEがステージで着用した唯一無二の輝きは、ぜひライブで観たいもの。また、6月上旬のオーストリアウィークではHYDEがオーストリア滞在中に撮影した旅の写真を使用した、ポストカードを先着順で配布したりSNSでシェア可能なデジタルポストカードも公開予定だ。

「未来の社会とは？」その答えを探しに行こう



万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に対し、オーストリアパビリオンは、さまざまな体感型展示などを通してその答えを導き出す。また、パビリオン内ではオーストリアの伝統菓子を楽しめたり、大阪湾を一望できるバーも設置。

多角的にオーストリアの過去と未来を照らす姿は、さながら文化のフルオーケストラのよう。HYDE自身も、その開幕を楽しみに待つ。「僕も大阪万博を楽しみにしています。L'Arc-en-Cielの誕生した大阪での開催というのも感慨深いですし、オーストリア館は音楽を通じて未来を体現できるようなパビリオンと聞いています。大統領とも再会したいですね!」